

## 中国・四国地方～都市と農村の変化と人々の暮らし～

本単元で育成する資質・能力

論理的思考力・コミュニケーション能力

## ■指導と評価の構想

(1) 単元について (生徒観・単元観・指導観)

## 学習前の子ども

〈資質・能力面〉\*C・D:本校で目指す資質・能力分類

## C 論理的思考力 (整理分析力・建設的批判力)

資料の読み取りでは、大きな変化や違いは読み取れるが表面的なものであり、その背景にあるものを推測したり既習内容や生活体験と関連付けて課題を見付けたりすることが難しく、情報の整理分析力に課題がある。

## D コミュニケーション能力 (協調性・柔軟性・交渉力)

話し合いの場面では、お互いの意見・考えを出すことはできるが、質問は出ず、考えが深まりにくい。

## 社会的な思考・判断・表現

資料の読み取りが浅く、また複数の資料を読み取りその関係性を見いだすことが不十分なので、深く考察することができず、根拠を明らかにした表現が弱い。

## 学習後の子ども (目標)

〈資質・能力面〉\*C・D:本校で目指す資質・能力分類

## C 論理的思考力 (整理分析力・建設的批判力)

交通網が発達したことでのどのような変化があったかを示す複数の資料から、必要な情報を読み取り、関連付けて考察することができる。

## D コミュニケーション能力 (協調性・柔軟性・交渉力)

話し合いの場面では、自分の生活に結び付けることにより自分の意見・考えを他の人の意見・考えを比較しながら聞き、質問を出し合いながらお互いの考えを深めつつ、話し合いを進めていくことができる。

## 社会的な思考・判断・表現

地域の変化・地域的特色を、交通網の発達による他地域との結び付きを中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。

## 〈学習材について〉

- 中国・四国地方は、生徒にとって身近な地域であるため、他地域に比べより興味を持って取り組み、またテレビや新聞の報道、家族の会話、旅行などの生活体験から得た情報を多く持っていると考えられるので、複数の資料から読み取れることを既習の知識と関連付けて考えやすい。そのため、個人の考えが出やすく、グループ活動を行ったときに、より多面的・多角的に考察することができる。

## 本単元で育成する教科の本質

中国・四国地方の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などに関連付け、他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。

## 思考スキルを活用した学習過程の工夫

## (1) 課題発見・課題設定

交通網の発達が地域の産業や、そこに住む人々の生活に大きな影響を与えることを押さえる。私たちの住む「呉」の交通網の整備を通して、呉の産業や生活はどのような特色があるかをつかむことを課題とする。

思考スキルとしては、「関係付け」、ツールとしては、白地図を用いる。

## (2) 情報収集、情報の整理分析

過疎・過密地域の課題を資料から読み取り、交通網の整備と関連があることをとらえる。また課題の解決策を練らせる。

## (3) まとめ・創造・表現

「住みたい場所」を考えることを通して、地域的特色を交通網の面から捉えることができる。

思考スキルとしては、「比較」、ツールとしては、マトリックスを用いる。

## (4) 実行・振り返り

「呉」の産業や人口分布・生活の様子などの地域的特色を、交通網の整備と関連付けて、説明することができる。思考スキルとしては、「関係付け」、ツールとしては白地図を用いる。

(2) 評価について

○ 資質・能力に係るルーブリック評価（「自分を創る」マップによる ～小中9年間の学びの中で～）

領域・能力	1 (妨害・怠惰)	2 (規律)	3 (自立)	4 (貢献)	5 (幸福)
自己の生き方 価値観 倫理観	自分のまわりを否定的に見て、学ぼうとしない。  自分の快・不快を基準に生きている。  目の前の相手や社会が必要としていることを知ろうとしない、あるいは知っても行動に移さない。	ひと、もの、ことから学んでいく。  人生を誠実に生きようとする。 <b>(夢を持つ)</b>  目の前の相手や社会が必要としていることを知り、やらなければならないことをやる。	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから学んでいく。  知的好奇心を持ち、人生を前向きに、誠実に生きようとする。 <b>(夢を語る)</b> 目の前の相手や社会が必要としていることを知り、やらなければならないことをやり遂げる。	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから自分を高めるために学んでいく。  知的好奇心を絶やさず、人生を前向きに、誠実に生きようとする。 <b>(志を抱く)</b> 目の前の相手や社会が必要としていることを感じ取り、やらなければならないことをやり遂げる。 <b>(使命感)</b>	あらゆるひとから、あらゆるものから、あらゆることから素直な気持ちで豊かに学んでいく。 <b>(柔軟性、自己理解・他者理解)</b> 知的好奇心を絶やさず、人生を前向きに、誠実に、豊かに生きようとする。 <b>(高い志に向かって)</b> 目の前の相手や社会が必要としていることを感じ取り、人がやらないこと、やりたがらないことであってもやり遂げる。 <b>(高い使命感)</b>
C (論理的思考力)	目標に対して、自分のこととして行動することができない。	目標をもち、自分のこととして意欲的に行動することができる。	自分で目標をもち、自分事として自ら考え自己決定し、行動することができる。	自分で目標を持ち、自分事として自ら考え、他者との関係において、適切に判断し行動することができる。	ひと・もの・こととの関係においてより高い目標を持ち、自分事として自ら考え、社会にとっての最善解や納得解を導き出すために判断し行動することができる。
D (コミュニケーション能力)	自分の意見を伝え、また他者の意見を受け入れながら、話し合ったり、活動したりすることができない。	自分の意見を伝え、また他者の意見を受け入れながら、話し合ったり、活動したりすることができる。	自分の意見をさまざまな表現方法で伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、協働して発想したり、活動したりすることができる。	自分の意見をさまざまな表現方法で伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、比較・検討し、協働して発想したり問題を解決したりすることができる。	自分の思いを適切に表現したり、他者の感情や思いを適切に受け止めたりすることができ、人間関係をつないでいける。



評価	S (十分満足できると判断される)	A (概ね満足できると判断される)	評価方法
C (論理的思考力)	中国・四国地方の特色を、資料から必要な情報を抽出・整理し、それを根拠に多面的・多角的に考察・説明することができる。	中国・四国地方の特色を、資料から必要な情報を抽出・整理し、それを根拠に考察・説明することができる。	行動観察・発言・ワークシート・振り返り
D (コミュニケーション能力)	自分の意見を積極的に伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、資料から読み取った情報を比較・検討し、協働して発想を広げたり判断したりすることができる。	自分の意見を伝え、他者の意見を柔軟に受け入れながら、資料から読み取った情報を比較・検討し、協働して発想を広げたり判断したりすることができる。	行動観察・発言・ワークシート・振り返り

○ 社会科の評価について

評価規準	評価方法
<b>社会事象への関心・意欲・態度</b> ・中国・四国地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち、設定した追究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究している。 ・過疎・過密地域の抱える問題について、身近な地域などの事象も含めて、広く関心を持っている。	行動観察 ワークシート 振り返り（自己評価）
<b>社会的な思考・判断・表現</b> ・中国・四国地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・都市と農村の変化を、自然環境や人々の生活、産業などと関連づけて考察している。	行動観察 ワークシート 振り返り（自己評価）
<b>資料活用の技能</b> ・中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ・収集した資料から、中国・四国地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	行動観察 ワークシート 振り返り（自己評価）
<b>社会事象についての知識・理解</b> ・中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色をおおまかに捉えている。 ・中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	行動観察 ワークシート 振り返り（自己評価）

(3) 指導計画 (全9時間)

次	主な活動内容	活用する スキル	評 価	
			評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 規準 (評価方法)
一 (6)	○ 自然環境の特色をつかむ。(1)		○ 地形や、「山陰・瀬戸内・南四国」の3つの地域の気候の特色を資料から読み取っている。【技】 (ワークシート)	
	○ 産業の発達や人口分布の様子を、交通網の整備を中心に理解する。 (1) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">課題設定</span>		○ 各地の産業や人口分布の特色を、交通網の考察を通して追究しようとしている。【関】 (ワークシート)	
	○ 広島市を例に、過密地域の特色とその課題について、交通網の面から考える。 (1) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">情報の収集</span>		○ 広島市の過密問題を、交通網の特色と関連付けて理解している。【思】 (ワークシート)	
	○ 過疎地域の課題と対策について交通網の面から考える。 (1) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">情報の収集</span>	関係付け	○ 過疎地域の抱える課題を、交通網の特色から読み取っている。【技】 ○ 過疎対策について、地域の交通網や人々の生活、産業などと関連付けて考えている。【思】 (ワークシート)	C<論理的思考力> (ワークシート)
	○ 交通網の発達による地域交流の変化について考え説明する。 (2) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">情報の整理・分析</span>	関係付け	○ 交通網の発達による地域の変化について、地域にとっての利点と問題点の両面から考えている。【思】 ○ 地図や統計資料から、瀬戸大橋を例にとり、地域間の結び付きの変化を読み取っている。【技】 (ワークシート)	D<コミュニケーション能力> (話し合い活動)
二 (3)	○ 交通網の発達による地域交流の変化について、自分たちの地域に置き換えて考える。【本時】 (1) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">まとめ・表現</span>	比較	○ 交通網の発達による、産業や生活にどのような影響が出るかを、「住みたい場所をどこにするか」という問いを通して考え、地域の産業の発達や生活が交通網の整備に影響を受けていることを理解している。 【思】 (発表・ワークシート)	C<論理的思考力> (ワークシート) D<コミュニケーション能力> (話し合い活動)
	○ 交通網の整備から見た「呉」の地域的特色を捉える。 (2) <span style="background-color: #ADD8E6; padding: 2px;">振り返り・実行</span>	まとめる	○ 「呉」の産業や人口分布の様子を、交通網の整備の面から説明することができる。【思】 (発表・ワークシート)	C<論理的思考力> (ワークシート)

■本時の展開

○ 本時の目標

交通網の発達による産業や生活への影響を理解し、条件と比較しながら自分の住みたい場所を説明することができる。地理的分野 2 (2) ウ (オ)

○ ルーブリック評価

評価	S	A	B (Aに達していない) と判断される生徒への手立て
期待する姿	家族構成の条件にあった「住みたい場所」を、多面的に考察し、根拠と理由を明らかにして、説明することができる。	家族構成の条件にあった「住みたい場所」を、根拠と理由を明らかにして、説明することができる。	年齢に応じて家族の一人一人がどのような生活をしているか考えさせ、予想させる。

○ 学習の展開

	学 習 活 動	◇指導上の留意点 ◆Bと判断される生徒に対する手だて	具体的評価規準 (評価方法)
つかむ	○前時の授業を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。	◇瀬戸大橋が開通して、交通の面で、どんな利点があったのかを挙げさせる。 ◇交通面の利便性が上がったことで、瀬戸大橋周辺の地域にはどのような変化が起こったのか問いかける。 ◇呉の町ではどのような変化がおこっているか、想起させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     自分の住みたい場所を、根拠を挙げて説明しよう。                 </div>			
考える・深める	○今までの中国・四国地方の学習から、交通網の発達による地域の変化・特色を自分たちの地域に置き換えて考える。	◇ 「住むならどの場所にするか」という問いを出し、理由(根拠)を付けて説明させる。その際、班ごとに別々の条件を出し(家族構成・職場の場所など)、交通網の状況や地域の産業の様子と関連付けて、理由を書かせる。  ◇これまでの学習で学んだ「交通網の発達と地域の変化」が生かせるよう、キーワードをカードにして掲示し、根拠を考えさせるヒントにする。  ◆交通網の状況によって、職場までの時間距離に違いがあることや、地域の産業や環境の違いに着目させ、そこでの生活を想像させる。	【思考・判断・表現】 地域的特色を、自然環境や人々の生活、産業などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 (行動観察・ワークシート)
<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【思考スキルの活用:比較 思考ツール:マトリックス】</b> </div>			
		◇地図から読み取った情報を基に、各地域での生活の様子を推論し、なぜそこに住むのかという根拠をつけて説明することができる。 ◇各班で出した結論を、どのような根拠で判断したかを中心に発表し、その理由を共有することで多面的・多角的な見方を養う。	

まとめ	○本時のまとめをする。		
	<p>(期待するまとめの例)</p> <p>私の家族構成の条件は、「自分（５０歳）・妻（５０歳）・母（８２歳）」でした。住む場所は呉市中央を選びました。家賃は高くお金がかかるけれど、商店や病院が近く、また様々な交通機関が発達しているので便利で、高齢の母のためにはここがよいと考えたからです。</p>		
	○本時の振り返りを文章で記入する。		
	<p>(期待する振り返りの例)</p> <p>今日の学習からの、交通網が発達しているかどうかで、地域の生活や産業に大きな影響があることが分かりました。</p>		